



# ライオンズクラブ チャリティーコンサート in新潟2025

Charity Concert in Niigata 2025

2025

10/7

18:00  
17:15 OPEN  
tue.

リゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館  
コンサートホール 新潟市中央区一番堀通町3-2  
〈全席指定〉5,000円

〈指揮〉和田一樹

〈ソロ・コンサートマスター〉渡辺美穂 〈演奏〉新潟A・フィルハーモニック

〈曲目〉フィガロの結婚:モーツァルト G線上アリア:バッハ 四季より「春」:ヴィヴァルディ  
ジュピター:ホルスト 運命:ベートーヴェン 他 ※曲目は都合により変更になる場合があります。

主催:ライオンズクラブ国際協会333A地区 問い合わせ:佐渡ライオンズクラブ 0259-57-2401(齋藤)  
マネジメント:一般社団法人 未来音楽企画 03-5843-8270

〈プレイガイド〉

リゅーとぴあ(インフォメーション)025-224-5622、インフォメーションセンターえん、e+イープラス [eplus.jp/Famiポート](http://eplus.jp/Famiポート)、  
カンフェティチケットセンター(Confetti) <http://confetti-web.com/@/niigataA4> 050-3092-0051

チケット代金の5,000円から1,000円の寄付金が  
ライオンズクラブの寄付金財団:LCIFに寄付されます。

寄付金はライオンズクラブの寄付金財団:LCIFに寄付され、能登半島地震や東北震災などの自然災害、小児がん治療、糖尿病予防、視力保護、青少年育成、貧困者の食糧支援などに使われます。







## ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会にはLCIF (LIONS CLUB INTERNATIONAL FOUNDATION) という奉仕と基金の財団があり、昨年は能登半島地震支援に3000万円交付したり、インドの飢えと栄養失調のために毎日5千食の野菜カレーを提供し、ザンビアでは2万人の子供たちの白内障の予防の検査をしています。新潟からのコンサートがより世界の奉仕に繋がっていくことを願っております。

ライオンズクラブ国際協会333A地区 林 隆行



**和田一樹〈指揮〉** 東京都中野区出身。2011年ブラジルロンドリーナ音楽祭にて優秀賞受賞。2015年ルーマニアで開催された第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝。2017年にはヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビュー。オーケストラと聴衆から熱狂的に支持され、楽団の総監督より「最年少最優秀客演指揮者」の称号を受けて以降、毎シーズンの客演を続けている。ドラマ「のだめカンタービレ」、映画「マエストロ!」「くちびるに歌を」などにおいて指揮指導を担当。これまでに、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、東京佼成ウインドオーケストラ、群馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ、広島交響楽団、九州交響楽団、ロンドリーナフェスティバルオーケストラ、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団、ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団などと共演、国内外で指揮活動を展開している。

**渡辺美穂〈ソロ・コンサートマスター〉** 名古屋市出身。3歳よりヴァイオリンを始め、林茂子、久保田良作、ゲルハルト・ボッセ、ジェラール・ブーレ、澤和樹に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に進学し、2年の時に第53回全日本学生音楽コンクール(1999年)に高校生の部バイオリン部門全国大会で1位を獲得し、コンクール諮問委員より、「素質の良さが将来に大きな期待を抱かせる」、「音色の感性も良いすべての面において高い能力を持つ」と評価を受ける。東京芸術大学を卒業。卒業時には「アカンサス音楽賞」を受賞し、東京芸術大学大学院へ進学する。2006年には大学院在学中に東京フィルハーモニー交響楽団へ入団。若手実力派バイオリニストとして注目を集めた。2012年9月1日から大阪フィルハーモニー交響楽団に入団、コンサートマスターに就任した。現在は、東京フィル、東京シティフィル、読響をはじめ各オーケストラからゲストコンサートマスターとして招かれている。また東京オーケストラMIRAI、横浜シンフォニエッタではコンサートマスターを務める。飛騨高山ヴィルトゥオーゾオーケストラメンバー。

**新潟A・フィルハーモニック** 2022年、新潟にゆかりある演奏家が集結し編成されたオーケストラ。これまでの定期演奏会では演奏者の熱い思いと息にあった演奏が多くの人々の心に響き、新潟の未来への新しいメッセージと評され、地元の人々から厚い支援と期待が広がっている。活動開始から、特に教育事業に積極的に取り組み、次世代を担う子どもたちのための音楽鑑賞事業やワークショップなど、教育巡回事業として活動を広げている。2024年から管打楽器のメンバーが新しく加わり、シンフォニックオーケストラとして、新しく活動を広げている。今後も規模を拡大しながら進化したステージを創り上げ、地域の人々に密着した、音楽活動を目指している。